

令和3年度病害虫発生予報第9号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	やや少	やや少
	うどんこ病	やや少	やや少
	褐斑病	やや少	やや少
	ミナミキイロアザミウマ	少	少
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	並	並
	コナジラミ類 (防除情報第18号)	多	多
	ハモグリバエ類	少	少
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病	並	並
たまねぎ	ネギアザミウマ	並	並
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類 (注意報第4号)	多	多
ブロッコリー	黒腐病	少	少
	べと病	並	並
	コナガ	やや少	やや少

【発生予報】 本文の () 内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.2%(0.7%)、発生圃場率は8.3%(16.1%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は1.8%(3.9%)、発生圃場率は41.7%(37.3%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.1%、発生圃場率1.1%)。

4. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（寄生葉率0.6%、発生圃場率10.7%）。

5. コナジラミ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は0.2%（0.5%）、発生圃場率は8.3%（20.5%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 密度が高くなると防除が困難になるので発生初期に防除する。

イ タバココナジラミは退緑黄化病の病原ウイルス（CCYV：ウリ類退緑黄化ウイルス）を媒介するので、防除を徹底する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和3年長崎県病害虫防除基準P158～161の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、発病株率は0.0%（0.1%）、発生圃場率は8.3%（10.8%）であった。

2. コナジラミ類

令和3年12月15日付け**病害虫発生予察防除情報第18号**による。

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（被害葉率0.2%、発生圃場率5.3%）。

レタス

1. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（10筆）の結果、発病株率は0.0%（過去10か年平均0.0%）、発生圃場率は10.0%（過去10か年平均0.7%）であった。

2. 菌核病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（10筆）の結果、発病株率は0.2%（0.1%）、発生圃場率は20.0%（19.3%）であった。

たまねぎ

1. ネギアザミウマ

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（16筆）の結果、寄生株率は3.3%（5.2%）、発生圃場率は37.5%（35.3%）であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（27筆）の結果、葉での発生を認めなかった（発病株率0.0%、発生圃場率0.5%）。また、果実での発生も認めなかった（発生を認めない）。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（27筆）の結果、発病果率は0.0%（0.1%）、発生圃場率は7.4%（12.2%）であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（27筆）の結果、寄生株率は1.6%（1.6%）、発生圃場率は25.9%（17.3%）であった。

4. ハダニ類

令和3年12月15日付け**病害虫発生予察注意報第4号**による。

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.7%、発生圃場率12.5%）。

2. べと病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（過去10か年平均発病株率0.0%、発生圃場率1.7%）。

3. コナガ

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生株率は1.3%（5.5%）、発生圃場率は25.0%（45.4%）であった。

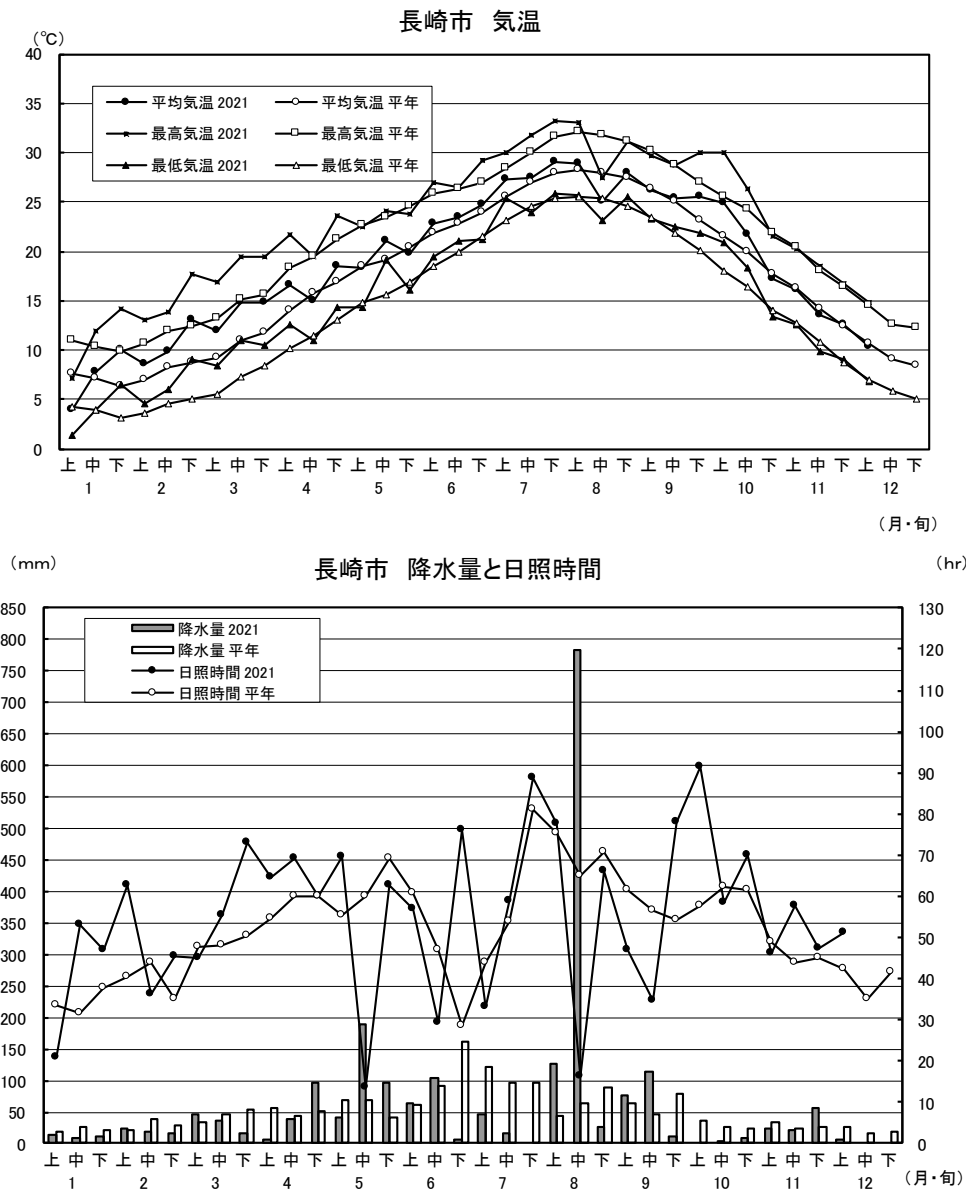
【参考】

(令和3年12月9日発表 1か月予報 福岡管区気象台)
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	30	30	40
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

※予報対象地域：九州北部地域

令和3年の気象経過（長崎地方気象台）



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス：<http://www.jpnn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ
長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) TEL：0957-26-0027

